



FT技 第62182号B

ケーブル貫通部防火措置工法
「ニジカン-マルカベ」施工要領書

国土交通大臣認定 PS060WL-9068
旧 BCJ-防災-1092評定

古河電気工業株式会社
株式会社古河テクノマテリアル

1. 適用条件

区画の部位： 壁（厚さ100mm以上）

品番及び適用ケーブルサイズ

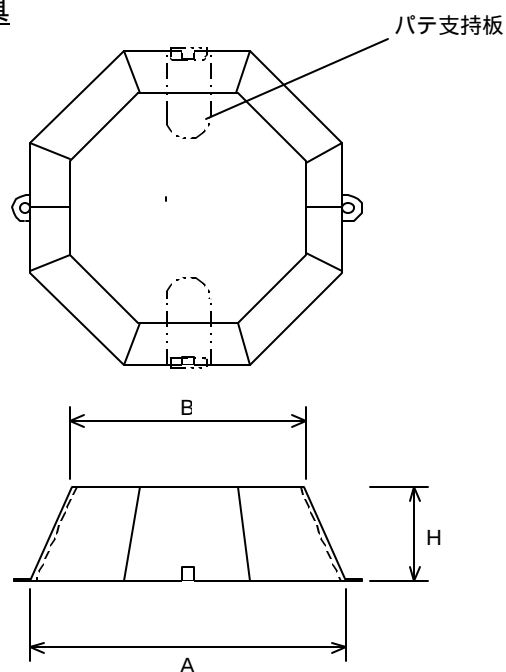
電線管等の他材料の貫通は不可。

品 番	最大適合開口径 (仕上がり径) mm	ボイド管 呼び径 mm	最大適用ケーブル サイズ	最大合計ケーブル 断面積 mm ²
MK- 50	55	50	600V CV 3c × 38	491
MK- 75	80	75	600V CV 3c × 60	755
MK-100	110	100	600V CV 3c × 150	1662
MK-125	135	125	600V CV 3c × 200	2290
MK-150	160	150	600V CV 3c × 250	2734

2. 使用材料

品 番	押え金具寸法(mm)等				ダンシール-P (40 × 260 × 5mm) 枚	パテ支持板 枚
	A	B	H	数量(枚)		
MK- 50	94	56	35	4	8	4
MK- 75	115	78	35	4	14	4
MK-100	143	106	35	4	22	4
MK-125	169	132	35	4	32	4
MK-150	193	156	35	4	40	4

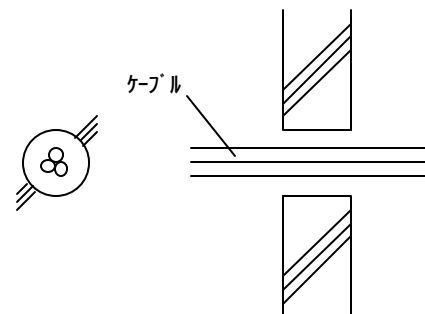
押え金具



3. 施工手順

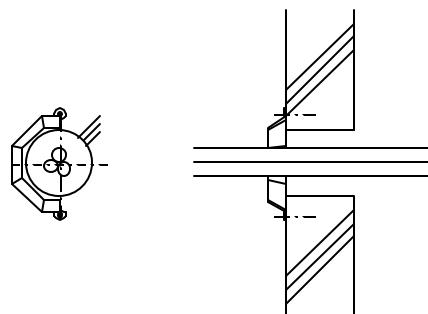
(1) ケーブル等の清拭

ケーブル及びその周囲を清拭する。



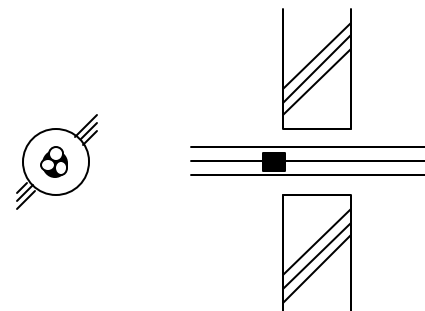
(2) 固定ねじ下穴の設置

開口部を中心にして、壁面に押え金具をあて、φ3.4mmの下穴を開ける。



(3) ダンシール-P充填

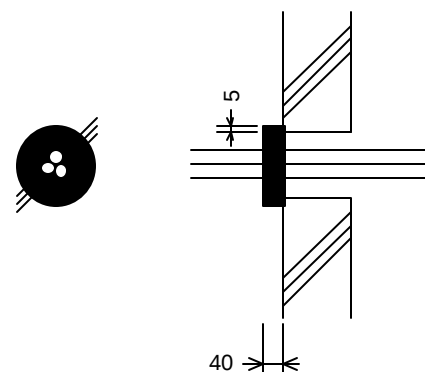
ダンシール-Pでケーブルの谷間を埋める。



(4) ダンシール-Pの巻き付け

壁面に沿わせながらダンシール-Pをケーブルの周囲に巻き付けていく。

巻き付け厚さは、開口部の縁よりも5mm程度大き目にする。



(5) 押え金具の取り付け

一対の押え金具の角穴にパテ支持板をはめ込む。その後、押え金具を壁面に押し当てながら、パテを左右から挟み込むように合わせる。この際、最初に開けた下穴と金具のねじ穴が合うように、設置位置の確認をする。

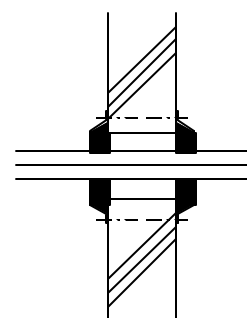
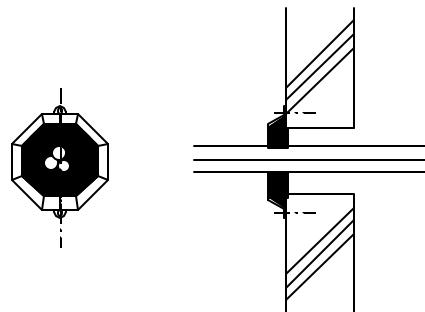
固定ねじ (M4 × 25) で金具を固定した後、パテ表面を軽くならしして隙間をなくす。

(6) 壁反対側の施工

壁の反対側も同様に施工する。

(7) 完了

最後に仕上がり具合を確認し完了とする。



以上